

## パレスチナ・ガザ地区とイスラエルの衝突により、100万人以上の子どもに命の危機 —子どもの犠牲者数は既に4,000人以上 すべての子どもたちへの支援を最優先に—



私たちセーブ・ザ・チルドレンは1953年からパレスチナ・ヨルダン川西岸地区とガザ地区において、地域に根差した活動を行ってきています。しかし現地時間2023年10月7日に発生したガザ地区、イスラエル間での武力衝突により、既に脆弱な状態にあったガザ地区の子どもたちはかつてない人道危機に晒され、一刻を争う状況に置かれています。当団体では現在、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)や現地パートナー団体と連携して、飲料水や食料品の提供を実施しています。

空爆による子どもたちの被害規模(11月9日時点)

犠牲者 **4,300**人以上

破壊された建物 **4万**棟以上

瓦礫の下に閉じ込められている子ども **1,400**人以上

現在も100万人を超える子どもたちが、安全な場所も逃げ道もなく、紛争地帯の真ん中に閉じ込められている状態です。

### 必要とされる支援と、運搬の障壁

現在ガザ地区では、水や食料、燃料、医療用品を入手するのが極めて難しい状況です。セーブ・ザ・チルドレンは、継続して支援物資を届けるため、尽力しています。支援物資には、衛生用品、生活必需品などをまとめた日用品セットや、レクリエーション用品、乳幼児ケアのためのキット、飲料水、個人防護具(PPE)、医療消耗品などが含まれています。



#### <支援の障壁>

国連によると\*1、ガザ地区に暮らす200万人以上のニーズに対応するためには、支援物資を運ぶトラックが1日あたり最低でも100台必要です。しかし、私たちの支援物資を載せたトラックを含む入域許可を得られたトラックは非常に限定的で、膨大なニーズを満たすことはできません。さらに、支援物資を届けるまでに、ガザ地区とエジプトの国境にあるラファ検問所の安定的な開放と、域内から荷物を受け取りに来るトラックの燃料の確保、安全なルートの確保など数々の障壁があります。

ペットボトルの水4万5,000本を積んだセーブ・ザ・チルドレンのトラックは、医療品やマットレスなどの物資を積んだもう1台とともに、ガザ地区へ支援を届けるため10月16日から待機していましたが、最初の支援トラックがラファ検問所の通過を許可され、なおかつ安全なルートを確保して物資を運搬できたのは、10月29日のことでした。11月10日現在までには計3台の支援トラックが通行を許可され、支援物資を届けています。

10月16日～28日

4万5,000本



パレスチナ・ガザ地区

21日に検問所が開通したが、安全を確保できず通過を断念。

10月29日



2台中1台のみ検問所を通過しガザ地区へ物資が到着。

10月30日～11月10日

4万5,000本



さらに2台が検問所を通過し合計3台がガザ地区へ物資が到着。

### 3人の子どもの父であるアミール

激しい爆撃の後、7歳の娘のナナは絵を描きました。家と庭、太陽、澄んだ空の絵です。ナナは「生きていられたら、おばとおじいちゃんの家に行きたい」と言います。彼女は、おばとおじいちゃんの家ががれきになってしまったことを知りません。

私たちは過去と現在のことを考えて、何度も泣きました。未来に私たちの居場所があるかどうか、分かりません。



パレスチナ・ガザ地区のナナさんが描いた絵

### ガザ地区外に9歳の娘がいるアマル

私は毎日娘の夢をみます。また抱きしめられることを願っています。

もう二度と、娘に会うことも、10歳の誕生日を祝うこともないかもしれません。

### 幼い息子がいるマリアム

爆撃の音が大きくなり、子どもたちは怖がっています。ひどすぎる。

どんな言葉を使っても、自分の気持ちをうまく伝えられません。



空爆によって破壊された建物を見つめるオマルさん(2歳)

## セーブ・ザ・チルドレンの見解と今後の活動

ガザ地区内では、安全の確保を最優先としつつ、緊急支援物資の配布や、子どもの保護と精神保健・心理社会的支援(こころのケア)などの準備を進めています。具体的にはガザをはじめ、今回の衝突の影響を受けているエジプト、レバノン、シリアなど近隣諸国でも、以下のような活動を予定しています。

- ・食料、飲料水、炊事用品、越冬支援キット(暖かい衣類や毛布、燃料、マットレスなど)などの支援物資の配布
- ・子どもたちが安心安全に過ごせる「こどもひろば」設置や精神保健・心理社会的支援(こころのケア)の実施
- ・教育:教師への心理社会的支援キットの配布、臨時学習センターの設置、学用品の提供、学校の修繕など
- ・水・衛生:簡易トイレの設置など
- ・保健・栄養:栄養不良児の特定および治療への照会、幼児への栄養補助食の提供、医療支援など
- ・物資購入のためのe-バウチャーの提供と現金支援

### セーブ・ザ・チルドレン・パレスチナ事務所代表 ジェyson・リーのコメント

「直ちに停戦に合意しなければなりません。今すぐにです。私たちはすべての当事者に対し、子どもたちの命を守るために即時に行動を起こすこと、そして国際社会に対しては、その努力を支援することを求めます。子どもたちを危害から守り、必要な支援を届けるために、できることはすべて行わなければなりません。専門的な救命措置が必要な子どもたちは、ガザを出て治療を受けられるようにしなければなりません。子どもたちの命を守る唯一の方法は、この暴力を止めることです。」

すべての子どもたちには、命の危険や暴力のない世界で暮らし、学校に通い、友だちと遊び、家族やコミュニティの中で安心して暮らす権利があります。セーブ・ザ・チルドレンが、パレスチナ・ガザ地区の子どもたちへ迅速かつ着実な支援を届けます。私たちだけの力では限りがありますが、皆さまお一人おひとりのあたたかい想いとともになら、より多くの子どもたちに希望を届けられると確信しています。どうか、私たちとともに、パレスチナ・ガザ地区の子どもたちを支えてください。

1 <https://news.un.org/en/story/2023/10/1142532>